

ちいさいけれど多岐多様な資料を所蔵

教育学研究科・教育学部図書室 図書掛長 山 本 修

本部構内、附属図書館北側にある4階建ての小さな1棟、それが教育学部本館です。その本館西側入口からはいったところに、図書室があります。閲覧席数12席、京都大学の小さな学部の小さな図書室です。

教育学部は、文学部「教育学教授法講座」を母体にして1949(昭和24)年に設置され、1998(平成10)年に大学院教育学研究科へと発展してきました。その中で図書室は「文学部移管図書」を基礎にして、1952(昭和27)年に設けられました。

現在、大学院2専攻(教育科学、臨床教育学)、学部1学科3系(現代教育基礎学、教育心理学、相関教育システム論)のもと、それらの資料を中心に、多岐多様な14万冊を蔵書しています。

書庫は学部本館地階に、哲学、心理学、宗教、社会学、教育学、医学の各分野の図書と、国内雑誌、外国雑誌、紀要類を収納しています。ここは開架式で、他学部学生を含めて、誰でも自由に入って資料を直接手にとって見ることができます(学外の方は除きます)。しかし収納はすでに満杯で、書架の天板の上にまで配架している状態です。そのため、昨夏、書庫内の大移動を行い、現在、総記、図書館学、歴史、政治、法律、経済、統計、自然科学(医学を除く)、工学の各分野と児童文学は別室の開架式書庫に、また、産業、芸術、語学、文学(児童文学を除く)の各分野と特殊文庫は、総合博物館内開架式書庫に、それぞれ分収納しています。この開架式書庫には限られた方しか入庫できず、利用者の方々にたいへんご不便をおかけしています。開架式図書の利用につきましては、閲覧室カウンターでお申込みいただければ、担当者が取り出しに行きますが、総合博物館内書庫収納の図書につきましては、お申込みの翌開室日

13時以降の利用になります。

また、教育学部には次のような特殊文庫を備えています。

- 「教育課程文庫」(10,276冊)：旧文部省からの移管図書。主に戦後日本における小・中・高校の教科全般にわたる教科書類。
- 「小西文庫」(489冊)：本学第9代目総長であった小西重直博士の旧蔵書。1940年代以前の我が国における教育原理に関する資料が多い。
- 「池田文庫」(393冊)：元教育学部教授・池田進博士の旧蔵書。比較教育学全般にわたる資料。
- 「高橋文庫」(324冊)：高橋俊乗博士の旧蔵書。江戸時代末期を中心とする近世教育思想史資料。
- フランス教育史コレクション(225冊)：19世紀および20世紀前半の女子教育関連図書を中心に、古くは18世紀後半の教育論から1980年代の研究書までである。1988年購入。

なお、当図書室の開室は、通常月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までで、休業期を除き昼休み時も開いています。京都大学の学生証、職員証等、身分証で利用できます。

(やまもと おさむ)

